

けいなわ きのかわ
京奈和自動車道 紀の川IC(出入口)路面変状により通行止め(第7報)
～復旧の見通しについて～

令和6年3月29日に開催した京奈和自動車道紀の川IC路面変状対策検討委員会(第2回)(座長 京都大学名誉教授 大西有三)で復旧方法を決定しました。
速やかに工事着手し、概ね1年で復旧する見通しです。
一日も早く復旧するよう努めてまいります。

京奈和自動車道紀の川IC路面変状対策検討委員会(第2回)

1. 日時: 令和6年3月29日(金) 13:00~15:00
2. 場所: WEB開催
3. 結果概要

○詳細設計の実施結果について(別紙1)

- ・ステップ1 既設の4号補強土を撤去し、新たに軽量盛土工によりランプ部の構築を行い、早期に交通を開放。
ステップ2 恒久対策として地すべりを抑止するための押え盛土工法等を約90m実施。
- ・速やかに復旧工事に着手し、概ね1年で復旧する見通し。

○紀の川IC開放後のモニタリング手法について委員会での指摘を踏まえ検討を行う。

「京奈和自動車道紀の川IC路面変状対策検討委員会」は、令和5年12月5日に京奈和自動車道紀の川IC(和歌山県紀の川市池田新地区)において、ランプ部に確認された路面変状に対して、その発生に至った原因究明及び対策について技術的な検討を行うことを目的とする委員会です。

■管内の状況について

- 道路情報提供システム <<http://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/pc/>>
- 和歌山河川国道事務所X(旧Twitter) <https://twitter.com/Mlit_Wakayama>
- 和歌山河川国道事務所ホームページ <<https://www.kkr.mlit.go.jp/wakayama/>>

<取扱い>

<配布場所> 和歌山県政記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ、
近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
副所長 林 茂視 (内線 205)
総括地域防災調整官 井田 卓 (内線 207)
TEL 073-424-2471 (代表)

対策工法について

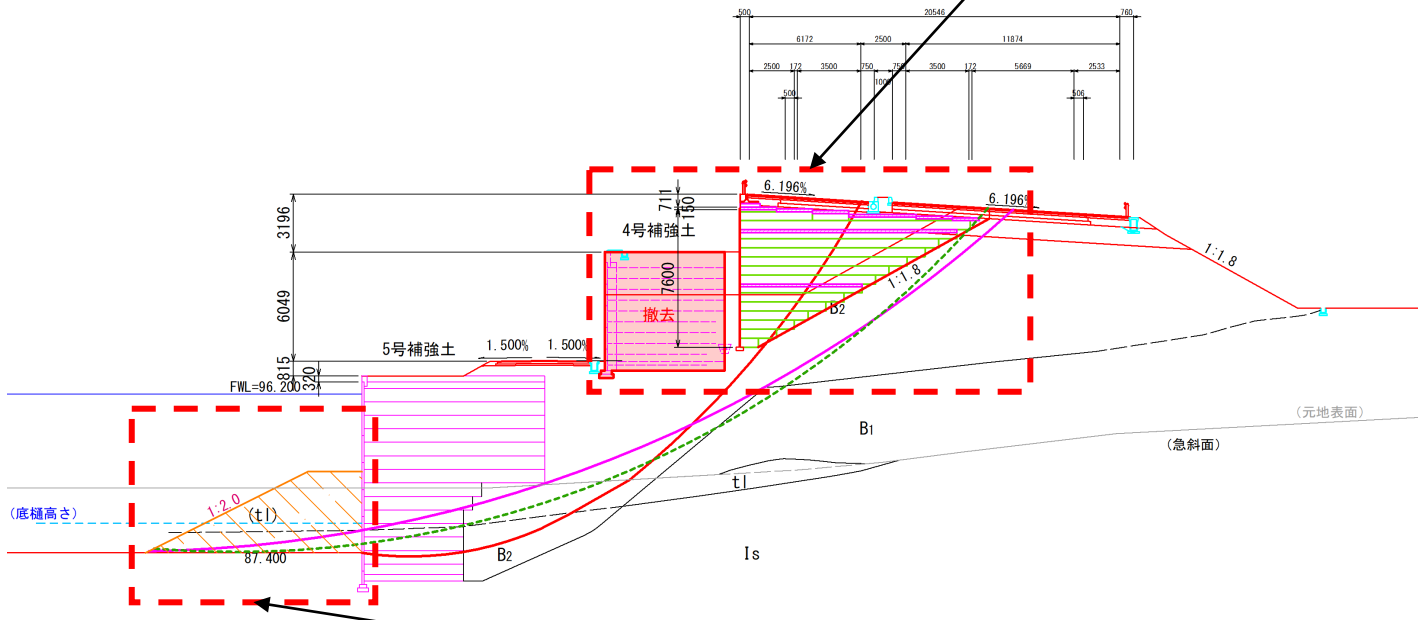
■ 対策工法（標準断面）

【対策内容】

ステップ 1

既設の4号補強土を撤去し、新たに軽量盛土工によりランプ部を構築

標準断面図



【対策内容】

ステップ 2

恒久対策として地すべりを抑止するための押え盛土工法等を約90m実施